

鎮守の杜もりから



水無月の夏越の祓する人は 千歳の命延ぶと言うなり

夏越の大祓い・茅の輪くぐり

ご参拝案内 六月三十日〈金〉

当印鑰神明宮では毎年六月と十二月の晦日に大祓式を行って
おります。祓いとは、罪、穢れを祓い去って身を清め明るい心
に立ち返り、六月晦日に半年間の祓いをやり、あとの半年間を
過ぎて十二月の大晦日には一年間の清め祓いをし、新しい年
を迎える神事であります。ぜひ多くの皆様に夏越の祓・茅の輪
くぐりにご参拝下さいますようお願い申し上げます。
また、茅の輪のくぐり方についてはウラ面をご覧ください。



◆刈り取った、あおい茅で茅の輪づくりの作業をするベ繩奉仕会のみなさん(神社境内)

印鑰神明宮公式ホームページ開設!!



アドレスは
"<http://inyaku-shinmeigu.com>"になります。
また、"印鑰神明宮"で検索もしてみてくださいね!

この時代に沿った形で変化していくことの
必要性を感じ印鑰神明宮もホームページを開
設することになりました。開設したばかりで
内容はまだ充実はしていませんが、印鑰神明
宮の良さが広く伝わるホームページにしてい
きたいと思っておりますので、温かく見守って
頂くとともにご意見や貴重な情報などありまし
たら、是非お寄せ下さい。

また、神社の歴史なども形
に残していけるのでいい機
会だと感じております。



ふう...なんか間に合った!?
会長1人じゃなかなか作業が捗らな
いで誰か青年会に加入し一緒に神明
宮のウェブサイトを作りませんか?
待ってます☆

夏越の大祓い・茅の輪くぐり

◆茅の輪のくぐり方案内◆



1. 先ず、茅の輪の前に立って軽く礼をします。左足からまたいで輪をくぐり、左回りに回って元の位置に戻ります。
2. 茅の輪の前で軽く礼をします。右足からまたいで輪をくぐり、右回りに回って元の位置に戻ります。
3. 茅の輪の前で軽く礼をします。左足からまたいで輪をくぐり、左回りに回って元の位置に戻ります。
4. 茅の輪の前で軽く礼をします。左足からまたいで輪をくぐり、ご神前まで進み二拝二拍手一拝の作法でお詣りします。

※また茅の輪をくぐっているときに神拝詞（となえことば）を言いながらくぐります。

「はらへたまへ きよめたまへ まもりたまへ さきはえたまへ」
 (祓い給へ 清め給へ 守り給へ 幸え給へ)

以上

〈参考〉茅の輪神事について

茅の輪神事は「ちのわしんじ」と読む。茅輪をくぐり超えて罪穢れを除き、心身の清浄ならんことを祈請するので、「輪越祭」「茅輪くぐり」とも称する。
 茅とは、ち、かや、ちがや、であつて、菅、薄など、多年生草木の総称である。
 茅輪の起源については、釈日本記七に、備後風土記逸文を引用して、次の如き事柄が記してある。
 即ち、神代の昔、素戔嗚尊が、南方の方へお出になる途中、或るところでお泊りになるうとして、土民の蘇民将来、巨旦将来という兄弟に宿をお求めになった。
 その時、弟の巨旦将来は、裕福な身であつ

たにも拘らず宿泊を拒んだのに対して、兄の蘇民将来は、貧しい身であつたが尊をお泊めし粟柄で座を設け、粟飯を饗してご待遇申し上げた。
 その後、年を経て素戔嗚尊は再び蘇民将来の家を訪れ、「もし天下に疫病が流行した際には、ちがやで輪を作り、これを腰につけておれば免れるであらう」と、教えてくださった。
 この故事に基づき、蘇民将来と書いて、これを門口に張れば災厄を免れる、という信仰が生じ、また祓の神事に茅輪を作つてこれをくぐり越えるようになったのである

ハイ！青年会広報部です。 Vol.002

予告

8月上旬開催！ 子供盆踊り大会
 同時開催/絵画コンクール

印鑰神明宮例大祭 平成29年9月23日
 【秋分の日】斎行！

白丁を着た氏子達が神輿を担ぎ、御神楽(オカグラ)も町内を回ります。

奉納/子供田植え踊り・子供樽神輿 わっしょい♪ わっしょい♪

境内にて各種催し物
 絶賛企画中！

大好評！熱烈演芸大会！

